

平成30年度  
社会福祉法人よしだ福社会 法人本部 事業報告書

【総括】

会計基準や社会福祉法の改正などに的確に対応するとともに、法人の経営理念に基づき法人本部の運営に努めました。

意思決定機関である理事会や議決機関である評議員会などを適宜開催し、重要事項について審議、決定いただきました。一方、法人本部においては、人事業務管理や大規模改修事業に重点を置き人材育成と施設の長寿命化に努めたところです。

【個別事項】

1. 理事会、評議員会の開催状況

理事会3回、評議員会3回（うち1回は文書同意による）開催しました。審議は、定款等に基づき適正に行われました。

2. 経営改善の取り組み

社会福祉法人は、法人の経営理念や中長期的な事業計画等に基づいた経営を行っていくことが求められています。収支については、改善傾向にあるものの中長期的事業計画等を基本とした取り組みが重要であり、今後その充実を図っていくことが必要です。

3. 予算管理と決算分析

介護保険事業収入は、収入全体の8割弱を占めることから予算との差異が生じないように各事業所の協力によりの確に見積もるとともにその執行に努めました。また、雲南市からの補助金、委託料についても関係部署との連絡調整により計画どおり受領し、事業実施することができました。

予算執行に当たっては、月次経営資料と三期分析データを活用し収支分析を行うとともに、財務指標に基づき決算分析を行いました。

4. 人事業務管理

業務改善と人材育成方針のに基づき、業務評価（試行）に取り組みました。今後は、業績評価及び能力評価を導入し人材育成に努めます。

会計、給与システムの効率的な運用や法改正への対応を含め、県内外の研修会に参加しました。今後も各種研修会に参加し、業務の効率化や法改正への対応に努めます。なお、法人全体を見た場合、現行の介護福祉システムの見直しなどが必要と考えます。

5. 施設、設備の改修

施設改修10ヵ年計画に基づき日本財団及び雲南市の協力のもと第3期の大規模改修工事に取り組みました。

6. 情報管理

ホームページにより情報発信に努めました。広報紙「水辺」を発行しました。

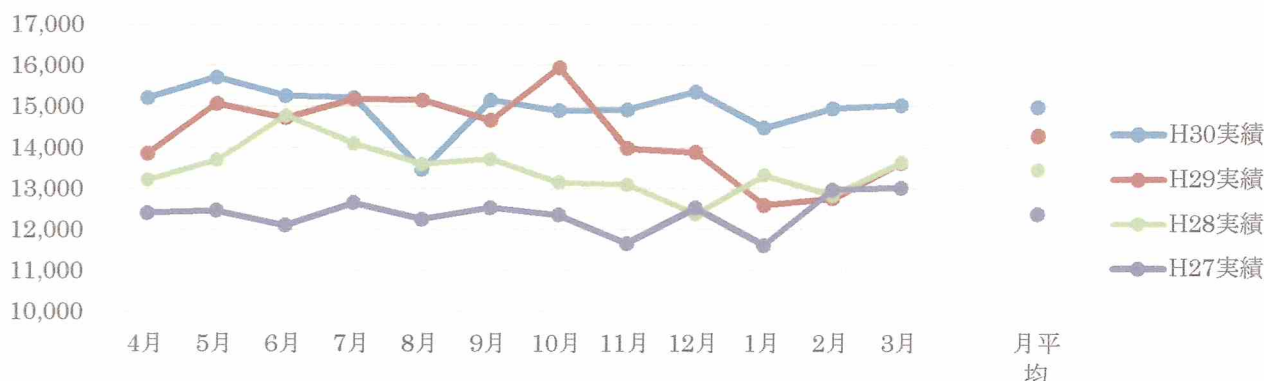
平成30年度  
社会福祉法人よしだ福社会 施設 事業報告書

1. 平成30年度介護保険事業の実施状況<総括>

住み慣れた地域で暮らし続けられる支援を更に推進するために、平成30年度は地域のニーズに基づいた新たな事業として6月1日に訪問看護事業を、7月1日に住宅型有料老人ホーム事業をそれぞれ開始しております。

各サービス事業もそれぞれの事業目標の実現に向け、サービス内容の見直し等を行い、サービスの質の向上を図っており、介護保険事業全体での事業収入をみても、平成27年度以降の3年間は年度を追うごとに順調に推移してきております。

介護保険事業全体の年次比較 (単位：千円)



介護保険事業全体での事業収入

(千円)

総合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30 実績	15,217	15,713	15,263	15,217	13,476	15,156	14,897	14,919	15,359	14,477	14,955	15,028	179,677
H29 実績	13,876	15,078	14,728	15,189	15,155	14,665	15,951	13,993	13,896	12,612	12,772	13,642	171,557
H30 予算	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,946	14,945	179,351
差異	271	767	317	271	-1,470	210	-49	-27	413	-469	9	83	326

2. 魅力ある職場づくり事業

人材育成ではキャリアアップ計画に基づき、各事業のリーダー的職員を養成する「中堅職員を対象としたキャリアアップ研修」を平成30年9月～12月に実施し、平成31年度から4名の職員を主任として登用しております。

3. 3つのケアポートとの連携事業

日本財団の助成を受けて行っているスリーポート連携事業「スリーポートゆめ・ひと・つながり塾」では、平成30年度がプロジェクトの最終年度ということもあり、スリーポート事業報告会を7月21日にケアポートよしだで、12月3日にケアポートみまきでそれぞれ開催し、職員だけでなく地域や行政、関係機関に広くPRしています。

地域生活支援分科会の作成した「ゆめ・人・つながり手帳」についても、手帳を用いて自己決定を支援していく「ゆめ ひと つながり隊」を養成する講座を10月28～29日にケアポートよしだで、11月16日・28日にケアポートみまきでそれぞれ開催し、多くの参加者から「ぜひこの活動を地域に広めて欲しい」、職員からも「初めてゆっくりと利用者に関わることができ多くの発見があった」等々、たくさんの貴重な意見をいただきました。この手帳を軸とした地域支援活動については来年度以降も継続していくよう計画しております。

4. 地域共生型福祉推進事業<地域の他組織との連携、協働>

地域貢献では、田井地区振興協議会、雲南市社協吉田支所と連携しながら、田井地区認知症支援事業「徘徊しても大丈夫！そんなご近所・地域づくりプロジェクト」に取り組み、キャラバンメイトとしてサポーター養成講座にも参画しております。